

# 「海外たすけあい募金」へのご協力ありがとうございました

日本赤十字社富士見町分区 富士見町赤十字奉仕団（住民福祉課社会福祉係 ☎62-9144）



町赤十字奉仕団では、昨年12月16日にAコープファーマーズ富士見店および西友富士見店で、「海外たすけあい」街頭募金を行いました。当日は富士見中学校の生徒のみなさんも参加し、「ご協力をお願いします」などと呼びかけを行い、元気に活動しました。



海外たすけあい募金 総額 68,559円

この募金は、全額を日本赤十字社長野県支部に送金しました。今後、世界の紛争や自然災害で苦しむ方たちへの支援にあてられます。

皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝を申し上げますとともに、今後も日本赤十字社の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

## ●救急法勉強会を開催します

もしも目の前に倒れている人がいたら・・・あなたの知識と勇気で救える命があります。

万が一の時のために救急救命の方法を学んでみませんか？

【日 時】 2月20日(水) 午後7時～9時

【場 所】 富士見町保健センター

【内 容】 一時救命処置（心肺蘇生、AEDの方法）

【申 込 先】 町赤十字奉仕団事務局（住民福祉課 社会福祉係） ☎62-9144

【申込締切】 2月15日(金)

受講料は  
無料です

## 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

### 「野外保育森のいえ“ぽっち”のお米作り」

毎年、野外保育森のいえ“ぽっち”の園児と保育者・保護者が協力して、お米作りをしています。

種モミを植え、苗を育てるところから子どもたちが行いますが、昨年は、苗の生育が悪く使えるものが少量しか育ちませんでした。こんなことは初めてで、米作り3回目の年長児の顔には「どうしよう、お米が作れなかったら、来年の焼き火ランチができなくなる」とあせりの表情が広がっていました。お米が育たない経験も、子どもたちにとっては「今年は失敗だったね」と失敗の原因を考える学びの機会としてお米作りを諦めるという選択もありましたが、



▲初夏から晩秋にかけて、子どもたちはあぜ道の散歩を楽しみながら、何度も田んぼに足を運びました

焼き火ランチができなくなるのはどうしてもイヤだということで、皆で相談し、地域の方から余り苗をいただくことにしました。こうして、なんとか田植えができました。

夏から秋にかけて台風がいくつも町を通過し、その度に子どもたちは田んぼの苗を心配し、台風が去ったあとには様子を見に行きました。いただいた貴重な苗だという思いが、大変な草取り作業にも根気よく取り組む力になりました。稲刈り、脱穀も力を合わせ作業し、今年も焼き火ランチを美味しくいただける量のお米が収穫できました。

11月には収穫祭を行い、お父さんお母さんをはじめ家族に新米をふるまいました。

例年と同じようにしていても自然の条件が合わなければ苗が育たない、という経験をした子どもたちは、人間の力が及ばない自然の深さ、大きさと、人間が自然に合わせて生活していくことの大切さを体験的に理解したことでしょう。

また地域の方のあたたかさに触れることで、苗や稲に対する思いも深まったと思います。自分たちの体をつくる主食であるお米を育てる経験は、単に米作りの作業だけでなく、子どもたちが生きていく上で必要なさまざまな力や感覚を育てることにつながっています。